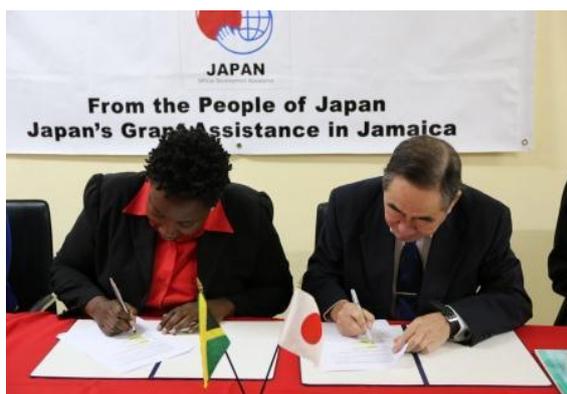


平成26年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「H I V感染者等の社会的弱者のための医療施設整備計画」贈与契約署名式

3月20日、高瀬大使は、キングストン市のジャマイカ・エイズ・サポート・フォー・ライフ（J A S L）にて行われた、平成26年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「H I V感染者等の社会的弱者のための医療施設整備計画」の贈与契約署名式に出席し、レヴァーモア J A S L代表と同契約へ署名しました。

ジャマイカ最大のエイズ人権保護団体であるJ A S Lは、H I V感染者等社会的弱者を守る活動においてこれまで大きな功績をあげてきましたが、ここ数年は、施設整備に困難を抱えていました。このプロジェクトでは、団体の診療所を改築し、診療室や薬局等を整備することにより、社会的に弱い立場にある人々の人間の安全保障を強化することを目指します。

当日の署名式へは、フェントン・ファーグソン保健大臣やエイズ関連団体代表者など約30名が出席しました。ファーグソン保健大臣をはじめとする来賓、団体関係者たちは、日本の援助への謝意を述べ、今後のH I V感染死亡者ゼロ、H I V感染者ゼロ、H I V感染者への差別ゼロを目指すことを宣言しました。高瀬大使は、人間の安全保障との考えの下、全国民が保護されるべきであり、そのために皆で協力していくことを望むと述べました。また、高瀬大使は、離任前にこの贈与契約式典に参加できて嬉しく思う、離任後も在ジャマイカ日本大使館は、ジャマイカ政府と協力していくと述べました。



（左）署名する大使とレヴァモア代表



（右）保健大臣とレヴァモア代表に小切手を渡す大使